



能・狂言 解説

羽衣

ところは三保の松原、うらかな浦の景色の中、漁夫白龍は松の木の枝に美しい衣が掛かっているのを見つけ、家宝にしようと持ち帰ろうとします。そこに現れた一人の女性。それは自分のものだから返してほしいと頼みます。彼女は天女、衣は天女の羽衣であると知った白龍はますます喜び、国の宝にと返そうと返せません。

天女は羽衣がなければ天に帰れないと、嘆き悲しみます。あまりに哀れなその姿に、白龍は舞を舞ってくれるなら羽衣を返そうと申し出ます。仕方なくその願いを聞き入れ、羽衣を纏った天女は、天上界の様子や三保の松原の春景色を伝える舞を舞い、やがて空高く舞い上がって霞にまぎれて消え失せます。

樋の酒

主人が留守の間、米倉を預けられた太郎冠者と酒倉を預けられた次郎冠者。
 退屈した次郎冠者は倉の酒を飲み始め、米倉を離れることができないう太郎冠者はしきりに羨ましがります。
 なんとか二人で飲みたい！ということで、次郎冠者がある物を使うことを思い付きます。
 仲の良い二人のやりとりと、主人への言い訳に注目です。

宝生会って？

金沢大学宝生会は、金沢大学にある能楽サークルです。我々が宝生会では「能」だけでなく「狂言」も行っております。「加賀宝生」の呼び名が示す通り、金沢は昔から能楽が盛んな土地で、兼六園近くには石川県立能楽堂もあり、金沢能楽会の定例能などが催されます。このような恵まれた環境で、しかも一流の先生方にお稽古していただける我々は、果報者集団と言ってもよいでしょう。

- 活動は基本的に週2回、
- ◆水曜日 16:00～20:00 ◆土曜日 13:00～17:00
- いずれも大学会館1階の和室で行っております。
- 興味のある方は、ゼヒゼヒHPに遊びに来てください♪
- ◆ホームページ http://neko2.net/k_hosho/

石川県立能楽堂

本館 〒920-0935 金沢市石引4丁目18番3号
 TEL:076-264-2598 FAX:076-264-2598

- アクセス
- バス：JR金沢駅西口から北陸鉄道バス「4番5番乗り場」小立野方面行きで約20分、出羽町または成興閣前下車すぐ
- 兼六園シャトルバス(土・日・祝のみ 100円) 金沢駅東口6番のりば→成興閣前下車

